赤旗　2006.11.15　（第3種郵便物認可）

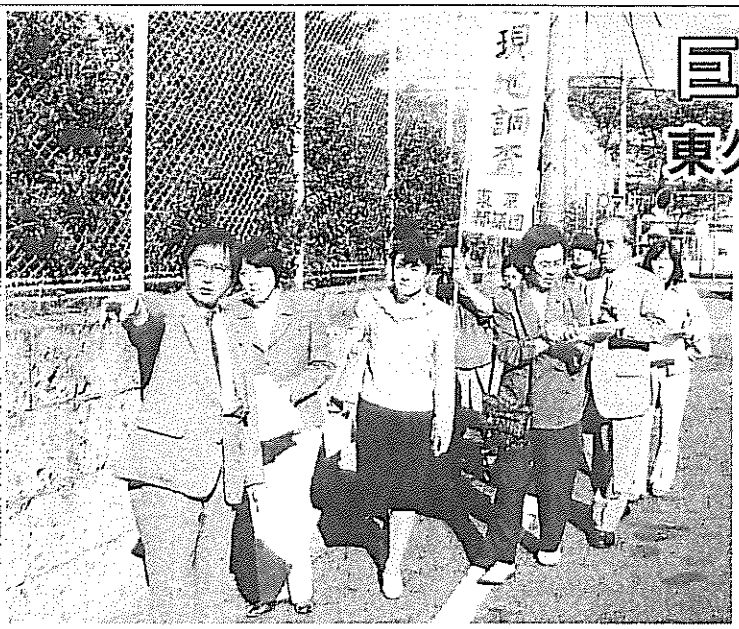
ニュース、写真、催し案内などのご連絡は下記へ
赤旗東京総局　03(3370)8325、ファクス(3370)8326
日本共産党東京都委員会　03(3370)0311(代)

巨大店イオン

東久留米市が誘致

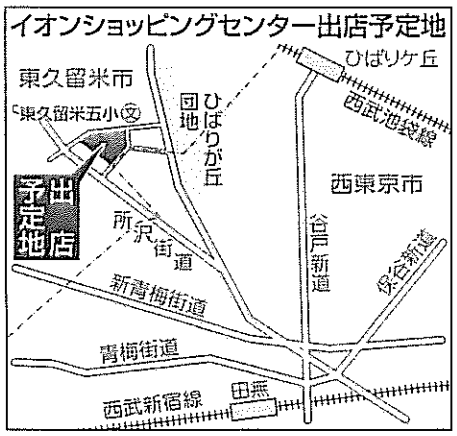
"静かな住宅地も環境悪化"

田村参院候補ら現地調査、住民と懇談



イオン出店予定地の周辺を調査する田村参院東京選挙区候補、清水、小竹両都議ら＝14日、東久留米市

東久留米市が誘致する巨大ショッピングセンター出店計画に地元商店主や住民が反対している問題で、日本共産党の田村智子参院東京選挙区候補、清水ひで子、小竹ひろ子両都議は十四日、住民らとともに出店予定地を調査しました。渡辺建一、原のり子両東久留米市議、しのはら重信、いといがわ知子両市議候補が案内しました。



計画撤回へともに

東久留米市は同市南沢のグラウンド跡地（約五・五ヘクタール）に、イオンショッピングセンターを誘致しようとしています。延べ床面積約七万五千平方の商業施設と二千二十台の駐車場を建設する計画です。

この問題では、市商工会長と市内十九商店会長が連名で出店計画の中止を求める陳情を提出。「地域の安全確保に努力してきた商店街がシャッター通りと化し、自動車を持つものだけが便利なまち、高齢化社会にふさわしくない街になる」と反対しています。

また、出店予定地に隣接する市立第五小学校の保護者も、児童の交通安全や健康被害、治安などへの深刻な影響を心配し、同様の請願を提出しました。しかし、野崎重弥市長とともにイオン誘致を推進する自民、公明両党などの反対で不採択になっています。

日本共産党は、イオン誘致計画の撤回と、市民参加による計画の見直しを求めています。

視察には「旧第一勧銀グランド跡地利用と環境を考える会」の塩田俊朗代表も同行。出店予定地を一周し、イオン出店のために市が約三億五千万円を負担して建設する道路予定地や幅の狭い周辺道路、車の渋滞で環境悪化が心配される閑静な住宅地などを見てまわりました。

視察後、田村候補らは「所沢街道事業者イオンSC出店対策連絡会」の篠宮孝・世話人や出店予定地に隣接する集合住宅の住民でつくる対策委員会代表らと懇談。篠宮さんは、イオンとの交渉や商店主との対話など運動の現状を紹介。田村候補は「住民の声を聞かずにイオンの誘致を進めるのは間違い。みなさんと連帯し、計画撤回のために頑張ります」と激励しました。

昭島市民の会

核兵器廃絶へ署名を訴え

「ヒロシマ・ナガサキからのアピール署名」をすすめる昭島市民の会は、このほど、昭島市昭島駅北口エスパ前で、核兵器廃絶を訴える「6・9行動」に取り組みました。

新日本婦人の会、昭島原水協などの人たちと日本共産党の荒井ひろゆき、佐藤あや子両市議の六人で、「北朝鮮の核実験強行は許せない。外務大臣や自民党役員の、核兵器の保有を論議すべきだとの発言は絶対に許せない。いかにして、一日も早く核兵器廃絶をすすめるかを論議すべきだ」と訴えました。

二十七人から、国際署名「すみやかな核兵器の廃絶のために」が寄せられました。